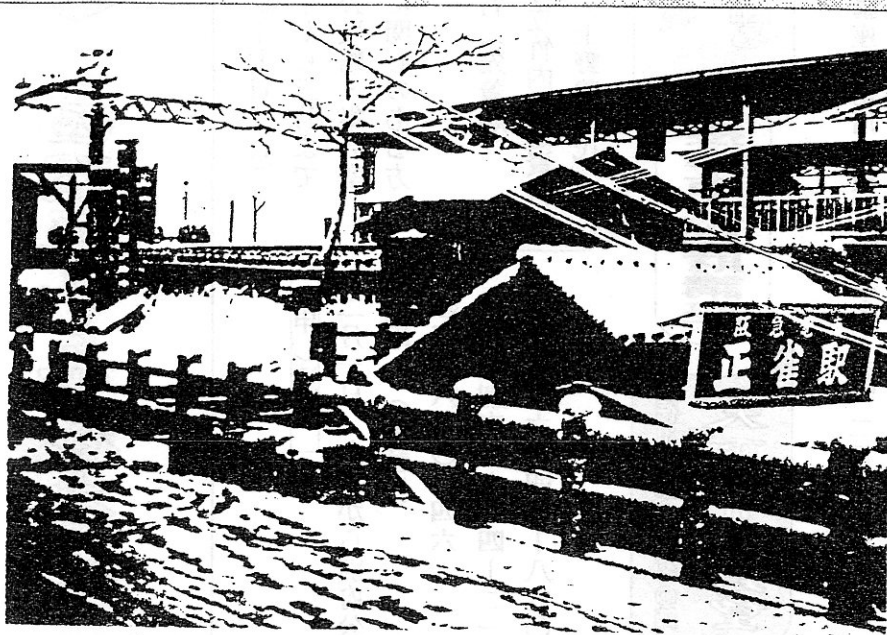
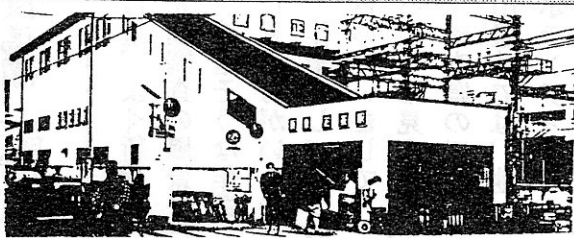


摂津なつかし写真館



昭和29年ごろの正雀駅

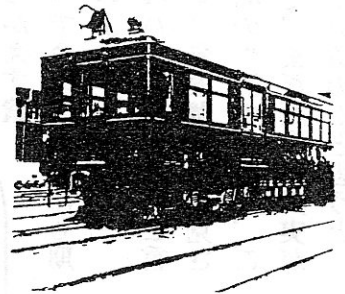


現在の正雀駅

昭和55年・正雀駅橋上駅舎供用開始

郷土摂津
いにしえ通信

第22号

平成十二年二月一日
発行摂津市三島一丁目一番一号
摂津市教育委員会
生涯学習部 生涯学習課

新京阪の車両百型

旧国鉄東海道線と並走する京都府境山崎付近では、「特急つばめ」を追い抜き話題になりました。

第11回
正雀駅◎本通信十号と十五号にも正雀駅のこと
が掲載されて
います。ご参
考にしてくだ
さい。プラットホームの下を流れていたからであろうと思われま
す。しかし、「尺」が「雀」
になったかは、いろいろな説
があつて確かなことは分か
りません。現在では改札口は摂津市で
プラットホームのほとんどが
吹田市に位置しています。本市域には、明治以来、旧
国鉄東海道線が通ってしまし
たが、駅は設置されていませ
んでした。昭和三年一月十六
日、新京阪電鉄（現在の阪急
電鉄京都線）の駅が当時の味
舌村に設置されました。
そこで、なぜ、「味舌駅」
ではなく「正雀駅」なのか？
それは、正尺川（当時）が

別府
カルチャールーム

『西國巡礼と聖徳太子』

【とき】 二月二十七日（日）

一時半から三時まで

【ところ】 別府公民館・集会室

【対象】 歴史に関心のある方

【参加費】 無料

【定員】 五十名（先着順）

【講師】 太子町立竹内街道資料館

館長・上野勝己氏

歴史上の人物から

現代を知る

摂津市文化財講座

徳川家康 大坂冬の陣

天下盗りの野望

○摂津市文化財講座「徳川家康、

天下盗りの野望、大坂冬の陣」を

開催します。申し込みは、往復ハ

ガキに、住所・氏名・年齢・電話

番号・返信用にあて書きを明記の

上、申し込んでください。

☎五六六―五八八八

摂津市三島一丁目一番一号

摂津市教育委員会生涯学習課

生涯学習推進係

申し込み

二月一日（火）から別府公

民館へ（電話可）

☎五六六―〇〇四六

摂津市別府二―二四―二一

☎〇六―六三四九―八五〇〇

【とき】 二月十六日（水）

午後一時半から三時半まで

【ところ】 安威川公民館

大ホール

【対象】 歴史に関心のある方

【参加費】 無料

【定員】 一八〇名（申し込み

多数の場合は抽選）

【講師】 作家 横山高治氏

投稿欄 『私にも一言』

最近、よく新聞やニュースで発掘調査の風景を目にします。地道そうな作業で、さぞかし忍耐力がいるのでしょうが、作業をしているひとたちは皆いきいきして

いるように見えます。青森県の三内丸山遺跡では、地域ボランティアが中心になって遺跡を訪れる見学者にガイドをしているそうです。遺跡が地域の活性化につながっているようです。三内丸山遺跡は縄文時代の常識をくつがえす遺跡のようで今後の調査にも期待しています。

歴史はパズルのようだと言われます。発掘調査で発見される人間の生活の痕跡は、ごく一部で、まだ歴史の真実が埋もれているのかと思うと、

歴史を解くパズル！

千里丘 了。〇

わくわくします。去年も奈良県飛鳥池遺跡では、最古のお金の可能性がある「富本銭」が見つかりました。また大阪府の難波宮跡でも最古の年号が入った木簡が見つかったとの事です。大化の改新前後の政治状況を知る上で貴重な資料と言われています。三重県

の貝蔵遺跡で見つかった弥生時代の土器には「田」の字が書かれていたようです。文字か記号がいまだに結論が出ていないそうです。

こうやってふりかえって見ても、全国でたくさんパズルの駒が見つかっているようです。これらのパズルを組み立てれば、どんな作品が完成するのでしょうか。歴史ファンの興味はつきないところです。※文章中の各遺跡については平成十一年十二月三十日、産経新聞「考古学ニュース・この一年」を参照。

郷土史コーナ

鳥飼の歴史

鳥養牧一月号の続き

延長五年（九二七年）に完成した「延喜式」では、当時の牧は三種類に分けられていました。皇室の料馬を供給する御牧（勅旨牧）、兵馬・用役牛の飼育を目的とする諸国牧（官牧）、京の近辺に設けた近都牧でした。

御牧は、甲斐・信濃・武蔵・上野の四力国に三十二牧がありました。左右馬寮の所管ですが、御牧を管理するため甲斐・信濃・上野の三力国には牧監、武蔵国には別当が置かれ、毎年四歳以上の馬を貢進せしめることになっていました。

諸国牧は、駿河・相模・武蔵・安房・上総・下総・常陸・下野・伯耆・備前・周防・長門・伊予・土佐・筑前・肥

前・肥後・日向の十八力国に馬牧・牛牧あわせて三十九牧がありました。兵部省の管轄に属しますが、馬は五、六歳、牛は四、五歳に達すれば、毎年左右馬寮に貢進しました。ただし、西海道諸国の牛馬は大宰府に送り、馬帳だけを兵部省に進上することになっていました。

近都牧は、摂津・近江・丹波・播磨の四力国に六牧がありました。諸国から貢進した繫飼（けいし）の馬牛をうけとった左右馬寮が、これらを飼育、必要に応じて京にひいてひさせるために設けた牧でした。

右馬寮所屬の鳥養牧が、鳥飼のどの範囲であったのであろうか。元禄十四年（一七〇一年）に刊行されました「摂陽群談」巻五には、嶋下郡鳥養村にある馬島が鳥養の御牧

の旧地と記しています。この馬島説を踏襲したものに、「大阪府全志」があります。その巻之三の「大字鳥飼下」の条に、「南に一沙州を為せる所あり、名を馬島と呼び、幅七拾間、長さ五百間なり、即ち古の国飼御馬を放飼せられし鳥飼牧のありし所にして、蘆葦生せり。往時にありては広大なる区域を有したるならんも、桑滄の姿は幾回にして終に今の如くなるに至りしものならん」とあって、馬島を鳥養牧の地に比定しています。

馬島は、鳥飼下と対岸の寝屋川市仁和寺との間の淀川本流中にあった砂州ですが、現在では水没してその姿はありません。しかし、この馬島を鳥養牧にあてたのでは、あまりにも狭小到過ぎる観があります。旧小字名からみますと、現在鳥飼下の石碑が建っている付近には、本牧や馬場垣内の名称があります。そして、少し離れた所には、五久の名称があります。五久は御厩に通じるものかも知れません。

地名から得た比定地は、いずれも鳥飼西部に属していますが、鳥養牧は鳥飼西部ばかりではなく、淀川に沿って、より広範囲に広がり、上流は三箇牧（高槻市）近くまであったと推定されます。「迎陽記」応永六年（一三九九年）四月九日の条には「鳥養東西牧」の名称がありますので、現在石碑のある所が西牧の中心であり、さらに淀川上流地域に東牧が展開されていたであろうかと思われます。鳥養牧地は別業地や港津も設けられていました。牧内にある鳥養院に立ち寄った宇多天皇や、土佐からの帰路に紀貫之が鳥養牧に停泊、藤原頼通が高野山参詣の帰途に当牧に立ち寄ったことなどが文献に書かれています。

その後、耕地化が進み所領化されたらしく、左馬寮の荘園となっていました。

摂津市史及び平凡社「大阪府の地名」より

担当（茗荷）

考古雑話

第 2 2 回

摂津市と水田の考古学

摂津市と水田の立地(3)

前号では、農林水産省「施肥改善事業」による水田土壌の三分類を紹介しました。これより、現在まで市域で実施された調査(おもに試掘調査・立会)から確認されています。堆積について前述の分類に従って見てみます。

①地下水位・土壌

安威川以南および鶴野地区では地下水位の低い地下水型土壌が広く展開しているようです。この土壌は通常湿田と言われ、市域では黒褐色の粘土堆積を呈しています。厚さも地域により若干異なりますが、1メートル以上を有する場合があります。これらの堆積には植物遺体が残存する場合があります。土器・陶

磁器などの遺物は耕作土ということもあり、ほとんど見つかってません。

昔から摂津市域で暮らしてこられた六十歳から八十歳代の方々のお話をまとめた『摂津市域昔の暮らし・摂津市教育委員会編・平成十年発行』にも「ハダシか板ナンバを履いての作業：(中略)：舟を使った運搬、下敷きというワラやムギワラを厚く編んだものを敷いてする稲コキの作業などさまざまな工夫と苦勞があった。」「用水の確保より悪水の排出の方が重要な問題となる。」などの当時の耕作に関するお話が見られます。

調査で見られるこれらの耕作土層は非常に粘土質が強く湧水も激しく見られます。調査中も泥に足を取られたり、

湧きだす水に苦勞することが多々あります。当時の苦勞が忍ばれます。

一方、千里丘陵近くでの水田土壌は大きく異なります。詳しくは、次号で見てください。(つづく)

平成9年度・一津屋1丁目・立会調査



(270cmまで河川の影響を受けた堆積)

平成11年度・島岡上5丁目試掘調査



(写真下の黒く見えている層が水田面)

【に】鶏(にわとり)

○家禽の一種。原種は南アジア地方の野鶏と言われています。○中国をへて日本につたわり、古くから日本人も飼育していました。○古来、天照大神の神話にみられるように曉(あか)ととも神秘的で意味合いがあります。○鶏の飼育の始ま

あ

からはじまる考古学

ととも宗教的な意味もあつた。○鶏の飼育の始ま

では諸説がありますが、鶏形の土器が福岡県下稗田遺跡、奈良県唐古・鍵遺跡などから出土しています。これらは弥生人が鶏を飼育していた証拠とみなされています。○古墳時代には鶏形埴輪が広く出土します。



◇鶏形土製品・福岡県津古生掛古墳

担当(伊部)